

あ…

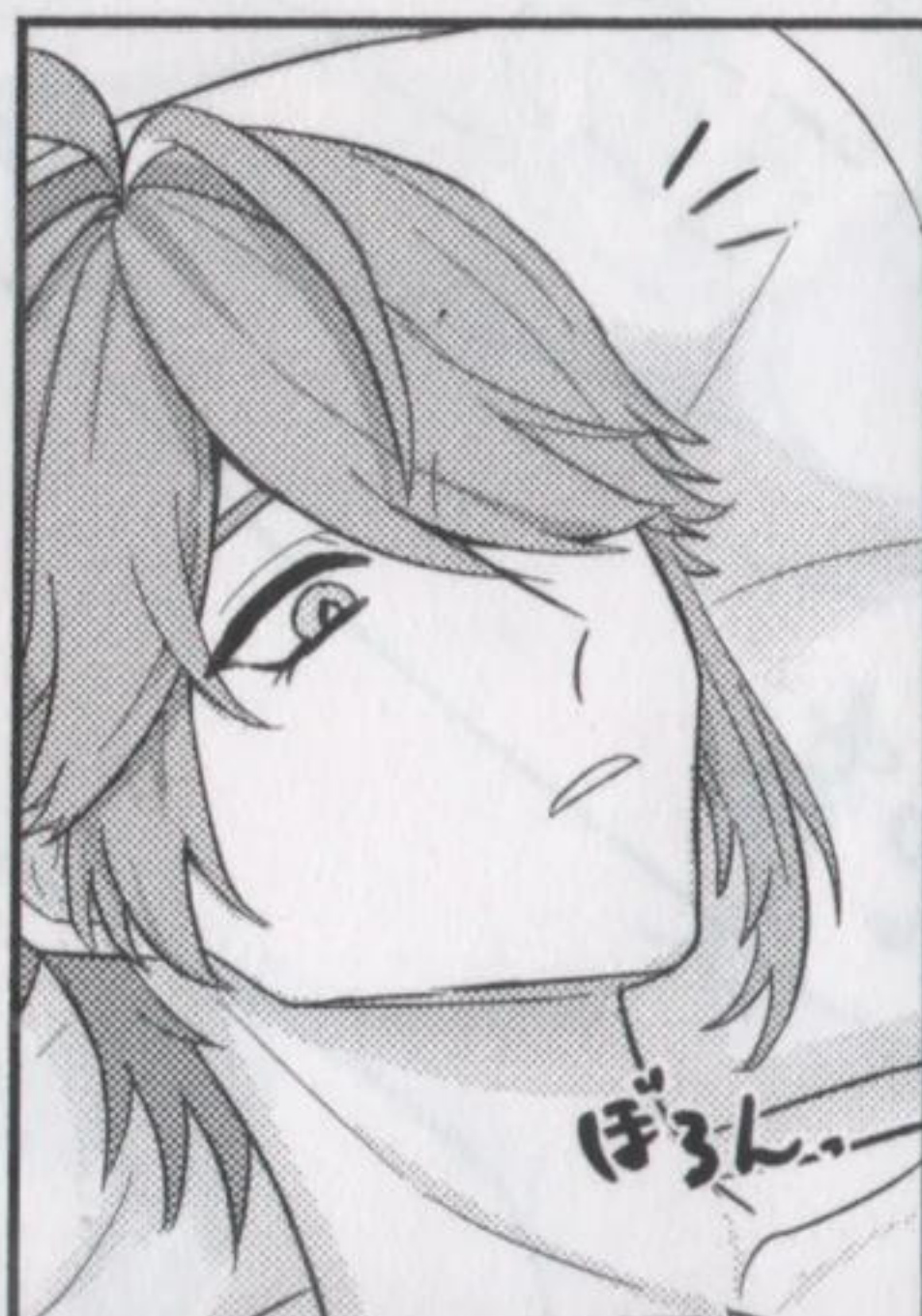
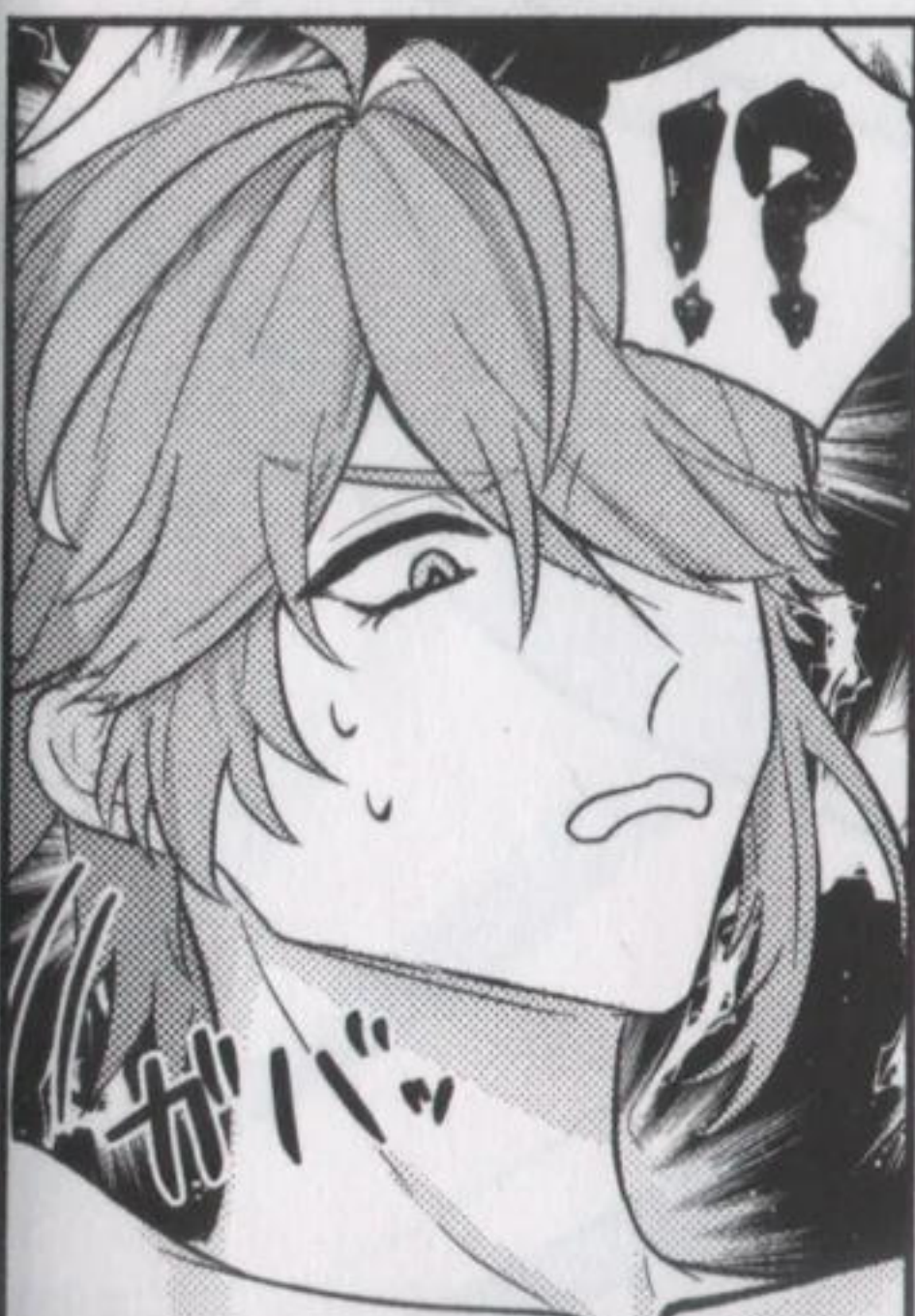
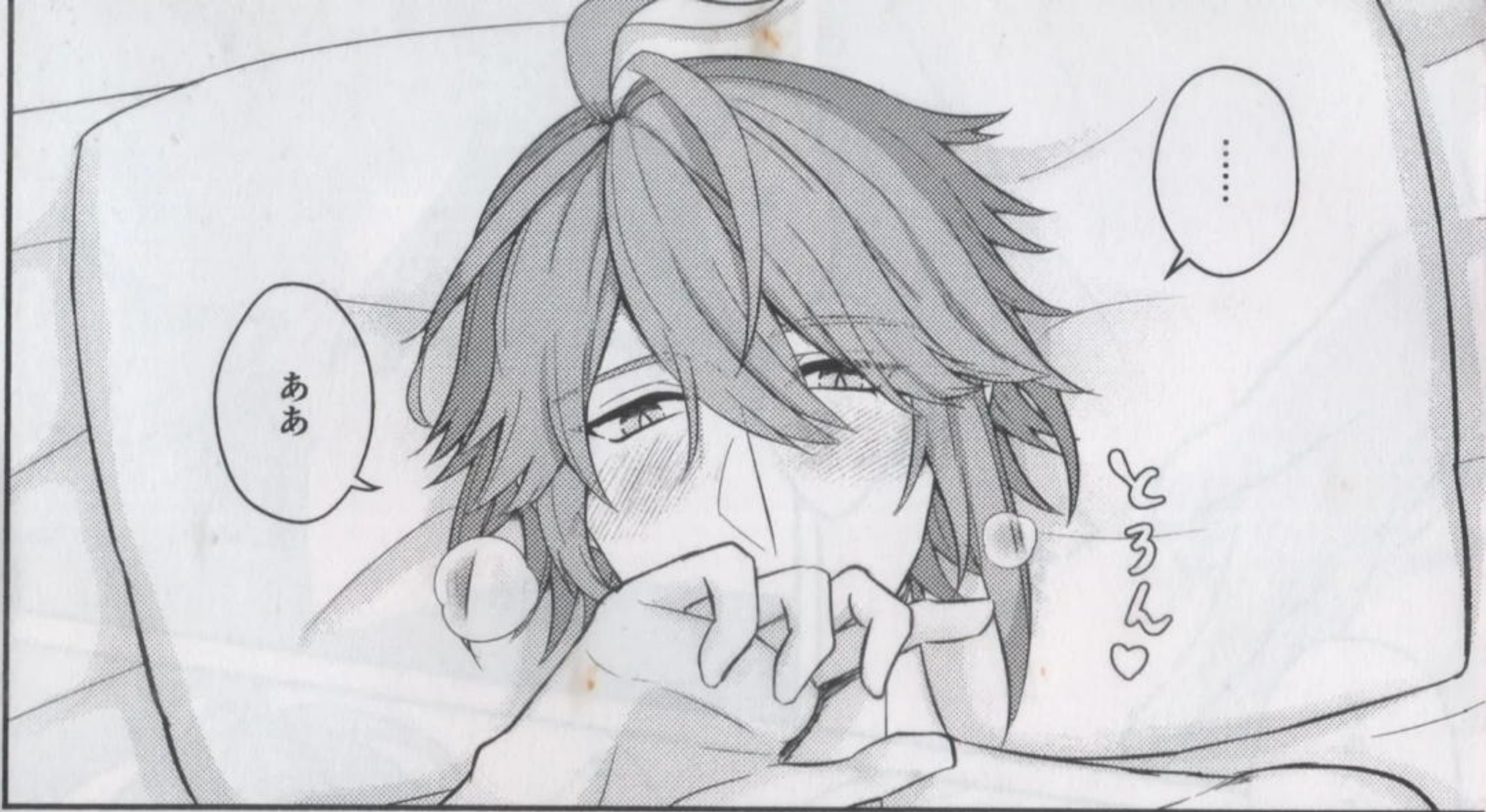
んっ

くちゅ

アルハイゼン

ここで気持ちよくなれそう？

だっだっ
だっだっ



スマイル人の平均と比べて明らかに大きい
巨根と言えるサイズだ

挿れていい？

え？

なんだソレは

ビックイ
BIG SIZE

我慢できない
挿れるよ

ぬふ...

あんなもの
入るわけがない

ボキ

つま...

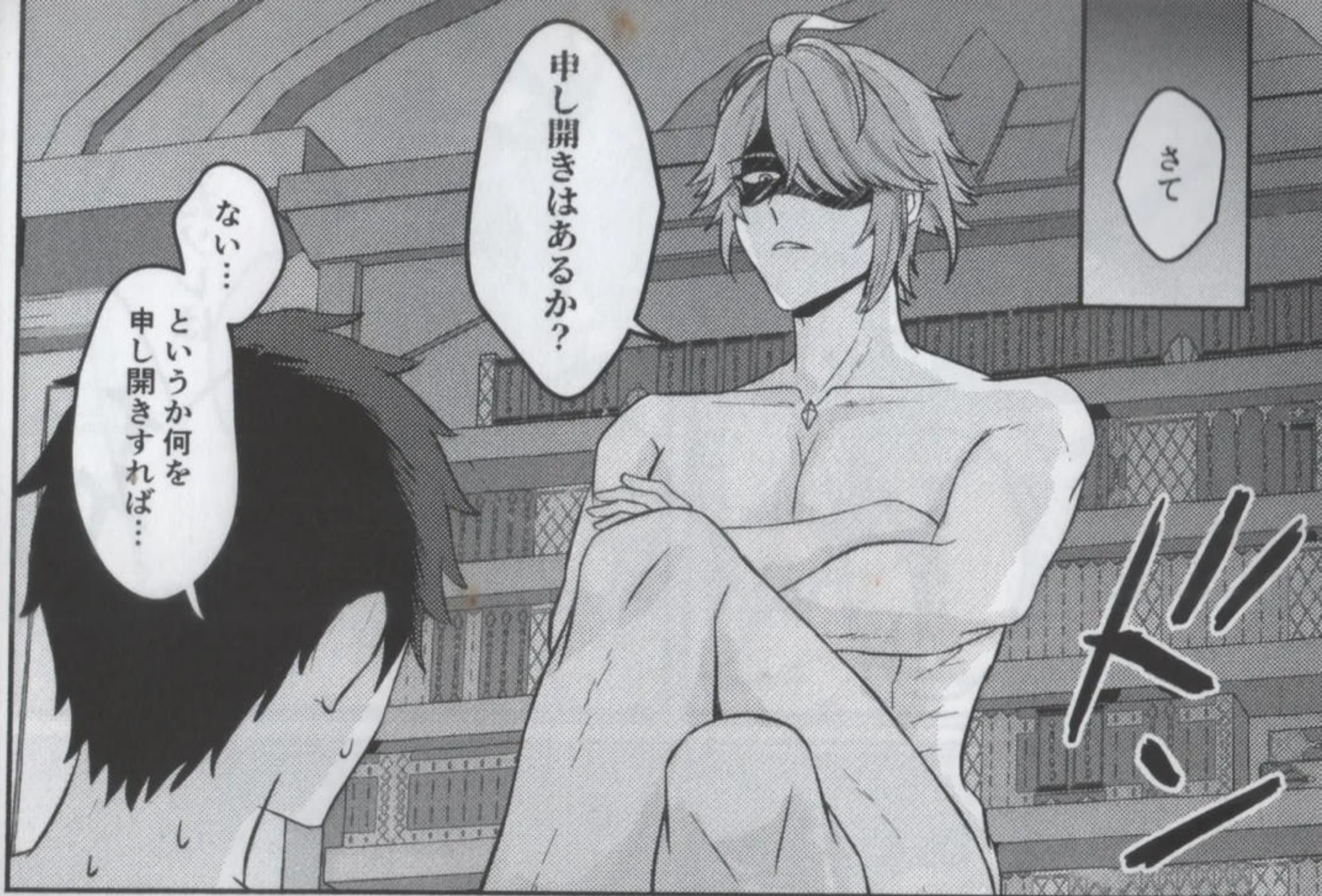
あれ？
入らない

待て！

止まれ！

この





きて

申し開きはあるか？

ない…

というか何を
申し開きすれば…

キッ



ほう？

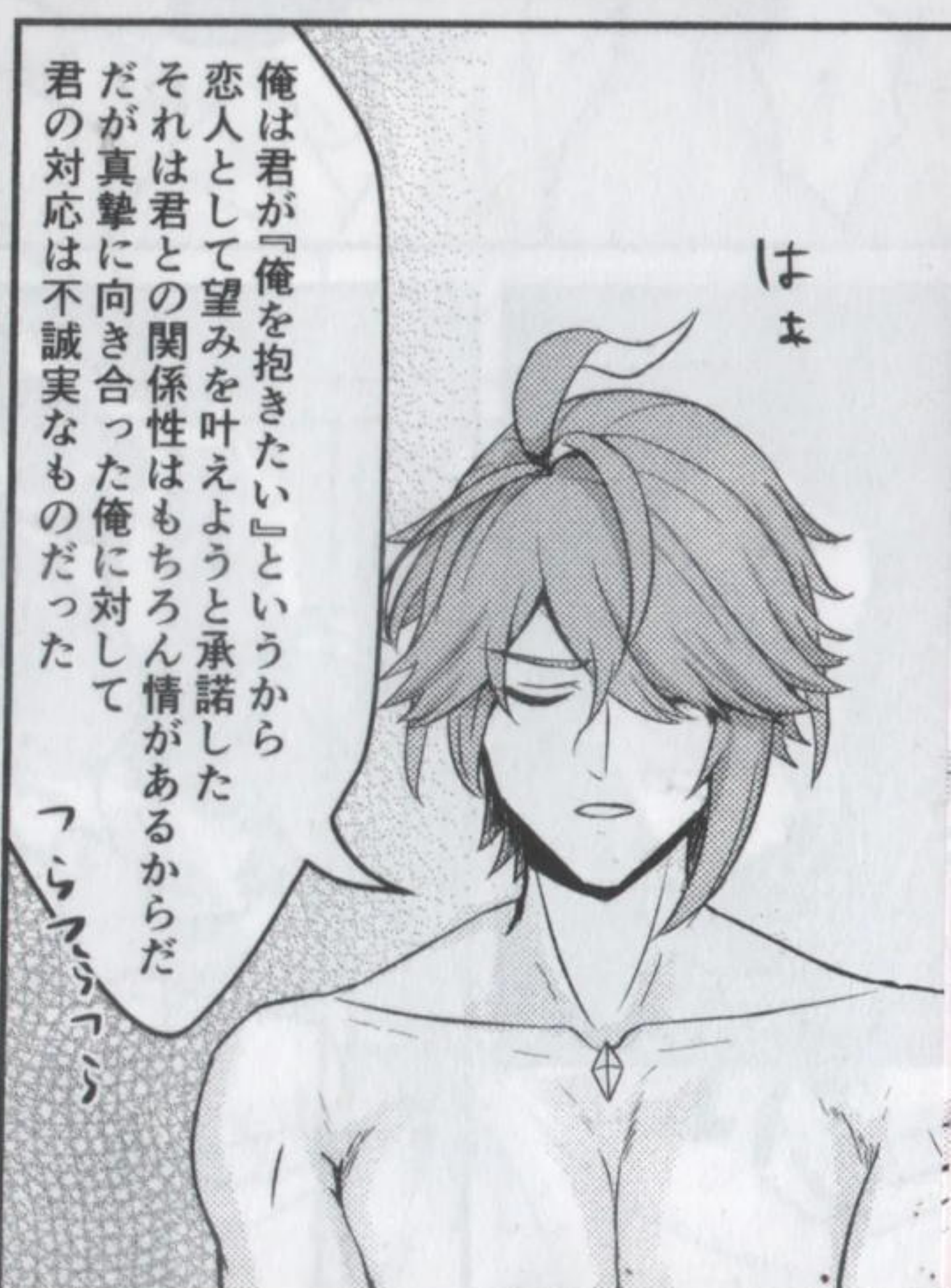
ひえ



それって

君の陰茎は大きすぎる
それだけ大きいのであれば

恋人の負担を考えると
予め相談しておくべきだろう
少なくともそうと知っていれば
俺は承諾していなかった



はま

俺は君が『俺を抱きたい』というから
恋人として望みを叶えようと承諾した
それは君との関係性はもちろん情があるからだ
だが真摯に向き合った俺に対して
君の対応は不誠実なものだった

フッ

俺
そんなに大きくないと
思うけど…



俺の陰茎を見ても
同じことが言えるのか？



アルハイゼンが
小さいだけじゃ



※イメージ図

俺は小さくない
君が化け物なだけだ

化け物!?



とにかくこの話はなしだ

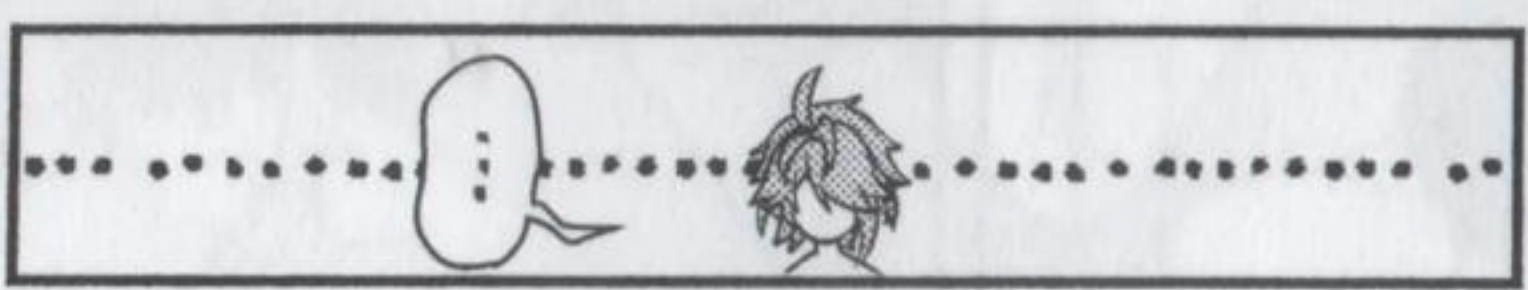
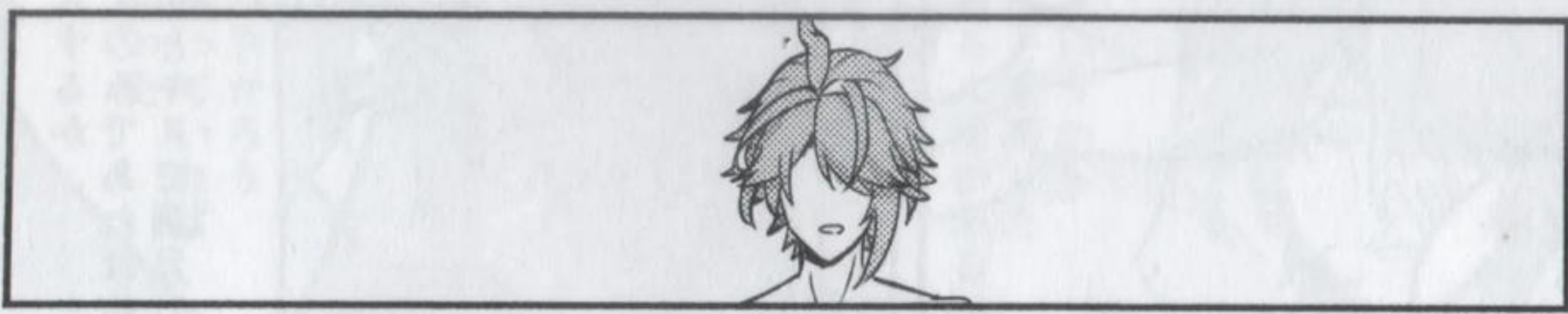
俺が君に挿入するか、
ペッティングのみであれば応じなくもない
俺は元々ハグとキスで満足している

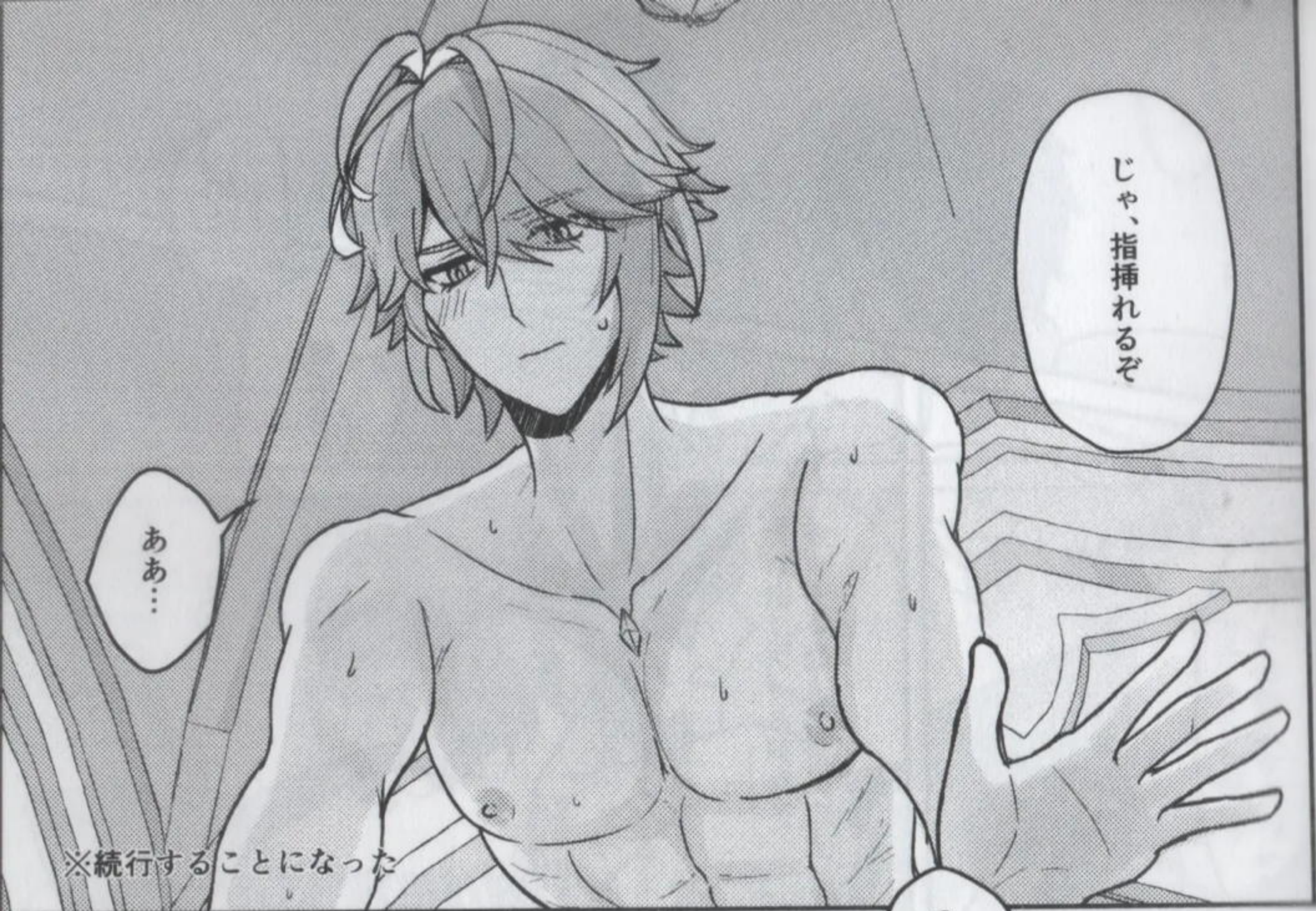
そ、そんな！

分かったら服を
着てベッドに入れ

俺を抱きしめて
眠るんだ







じゃ、指挿れるぞ

ああ…

※続行することになった



一般的な物差しで

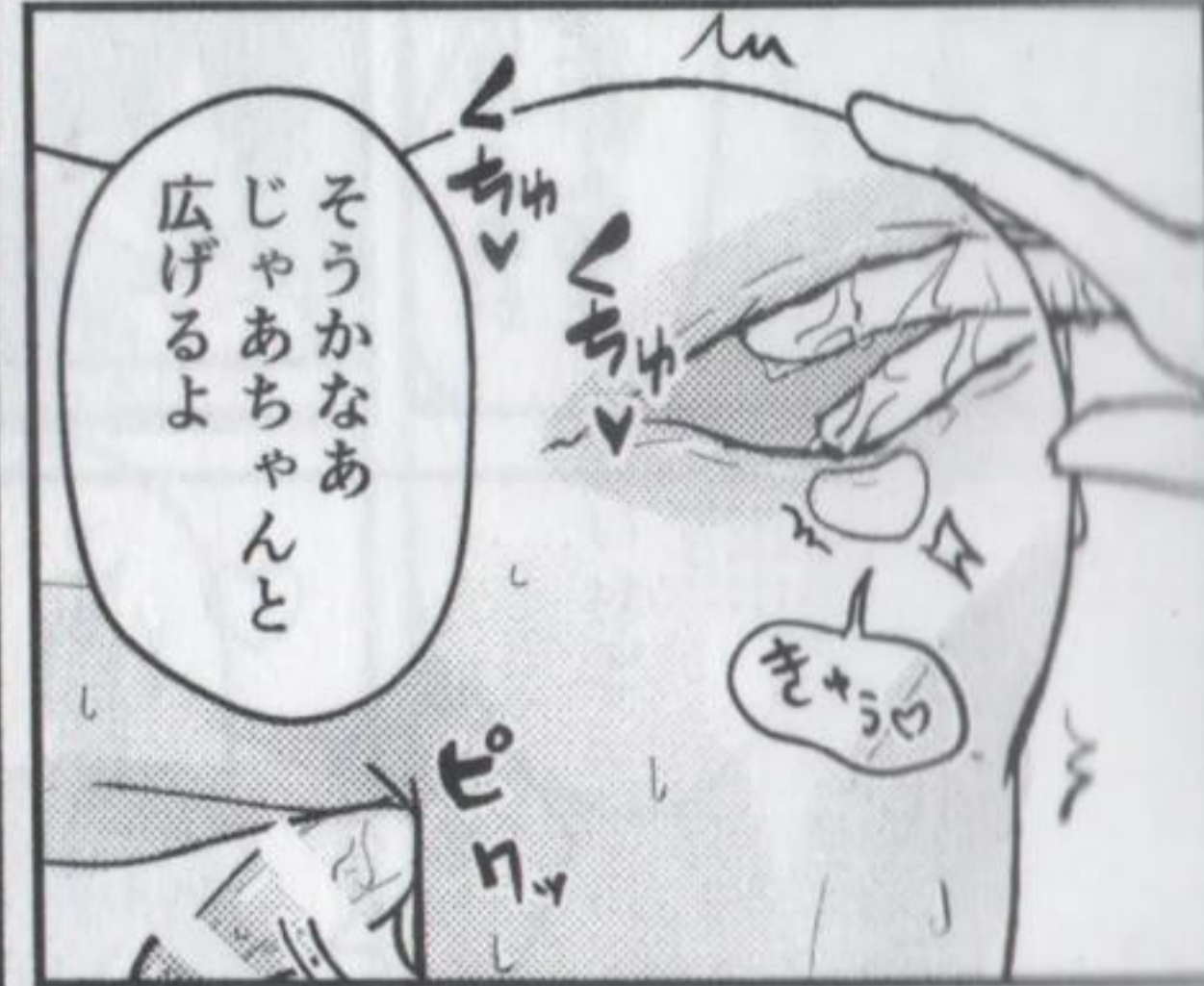
君のソレが測れると思うな



っていうか 指2本入れれば いけるって聞いたんだけど

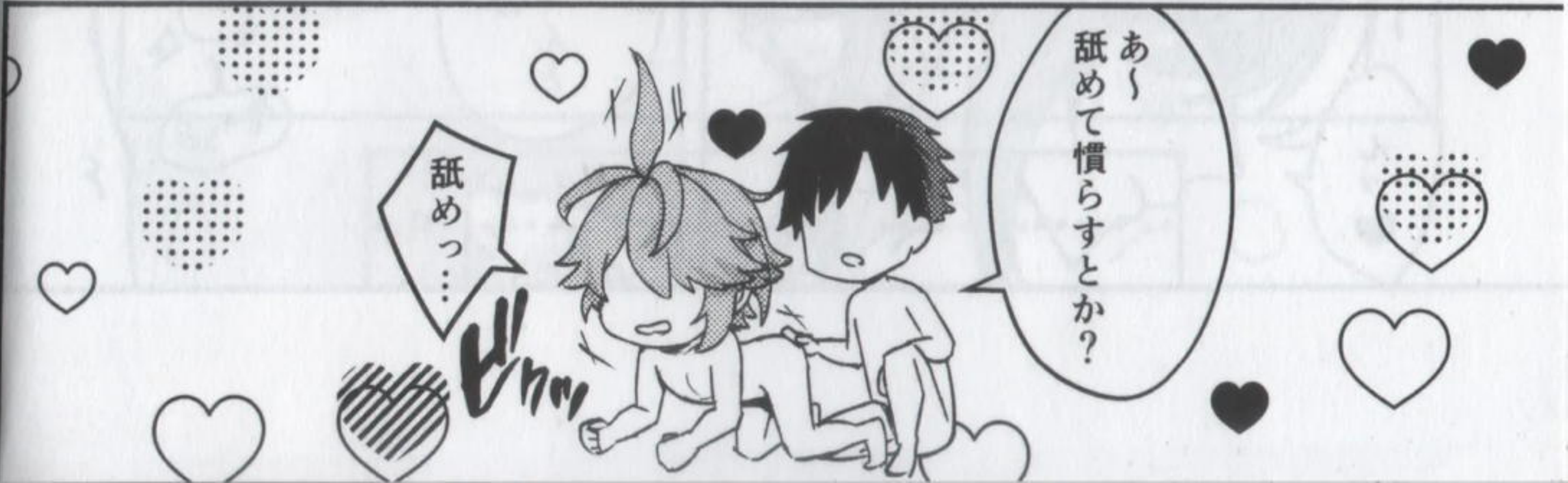
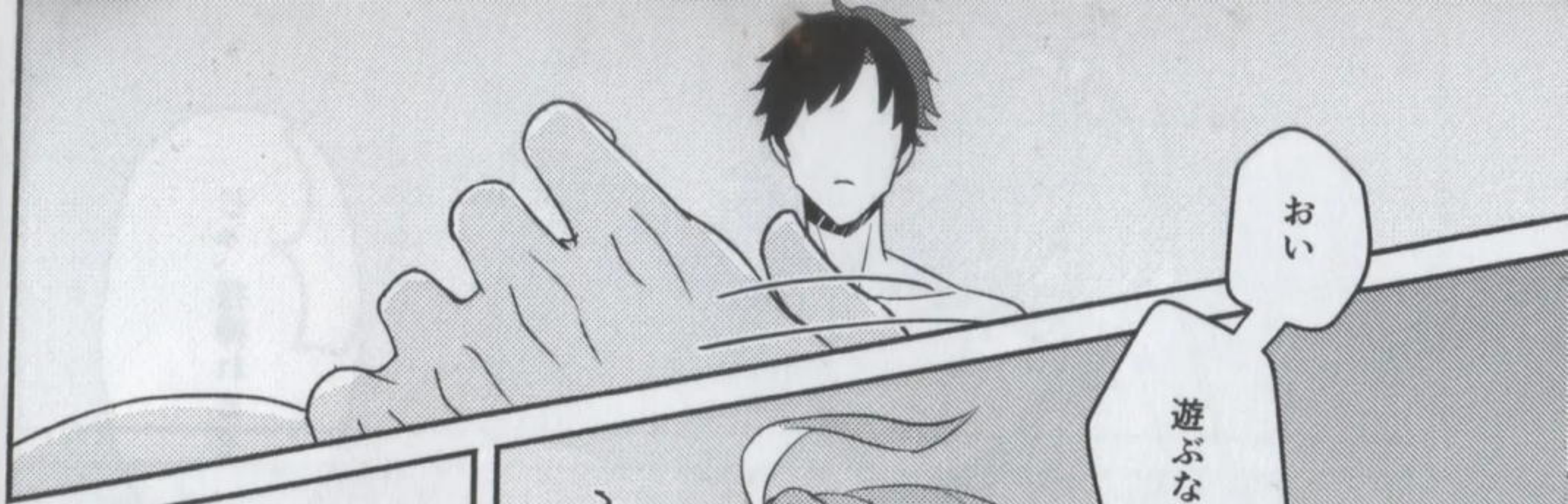


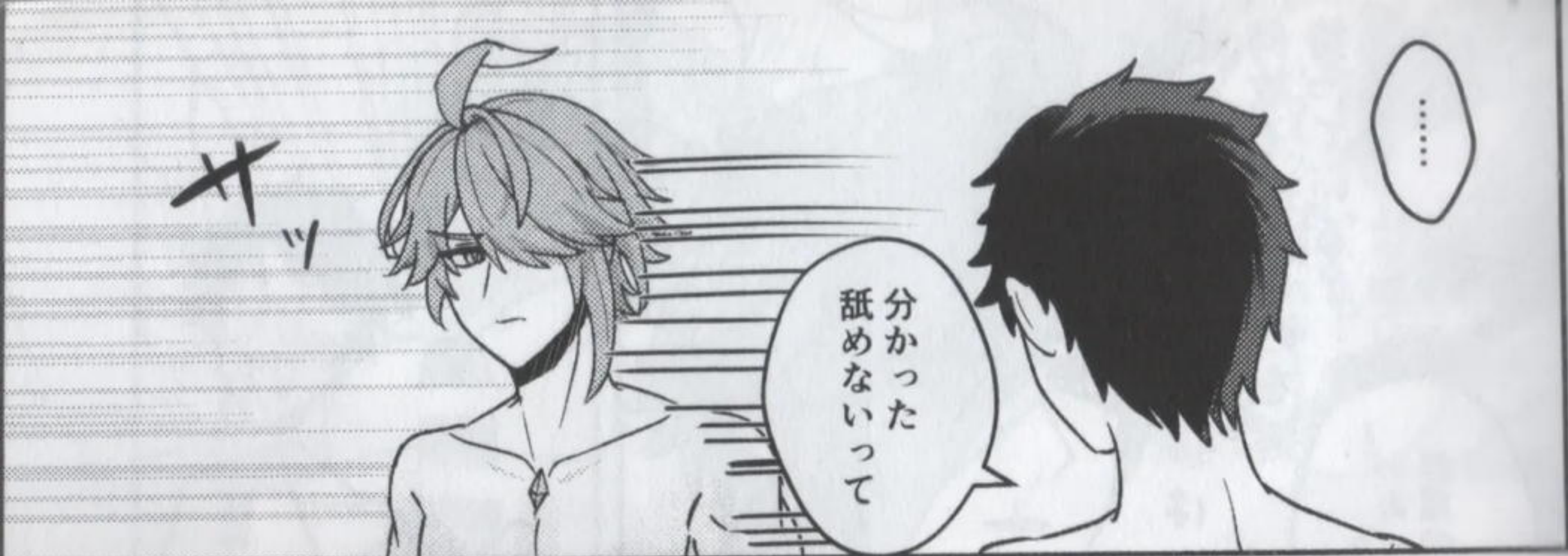
んっ♡



そうかなあ じゃあちゃんと 広げるよ

きゃっ♡





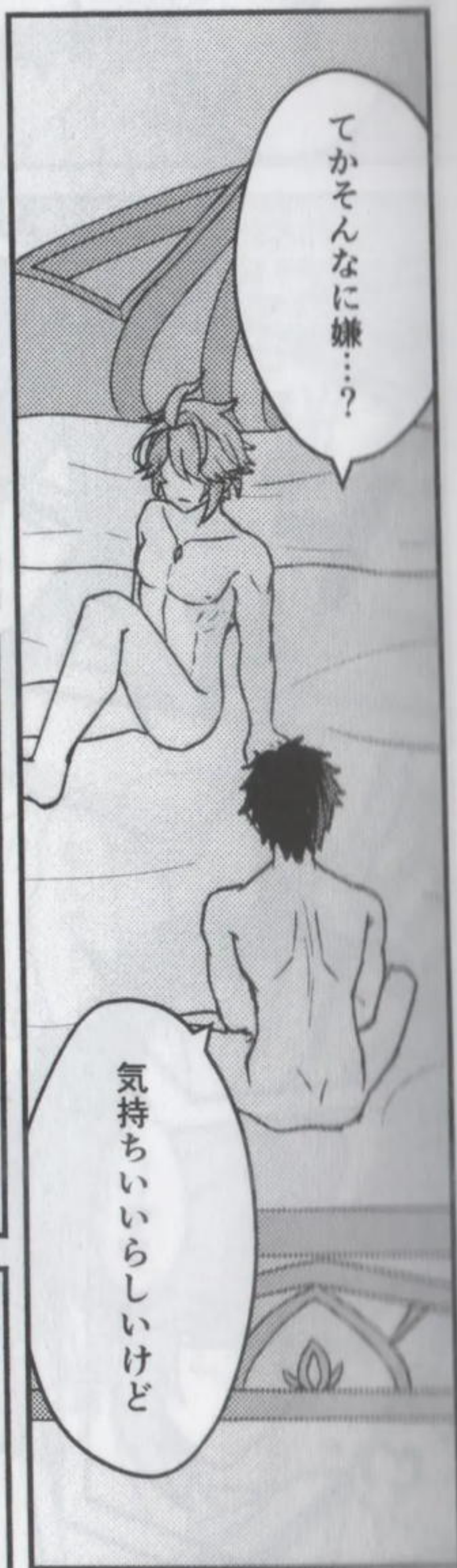
分かった
舐めないって

...



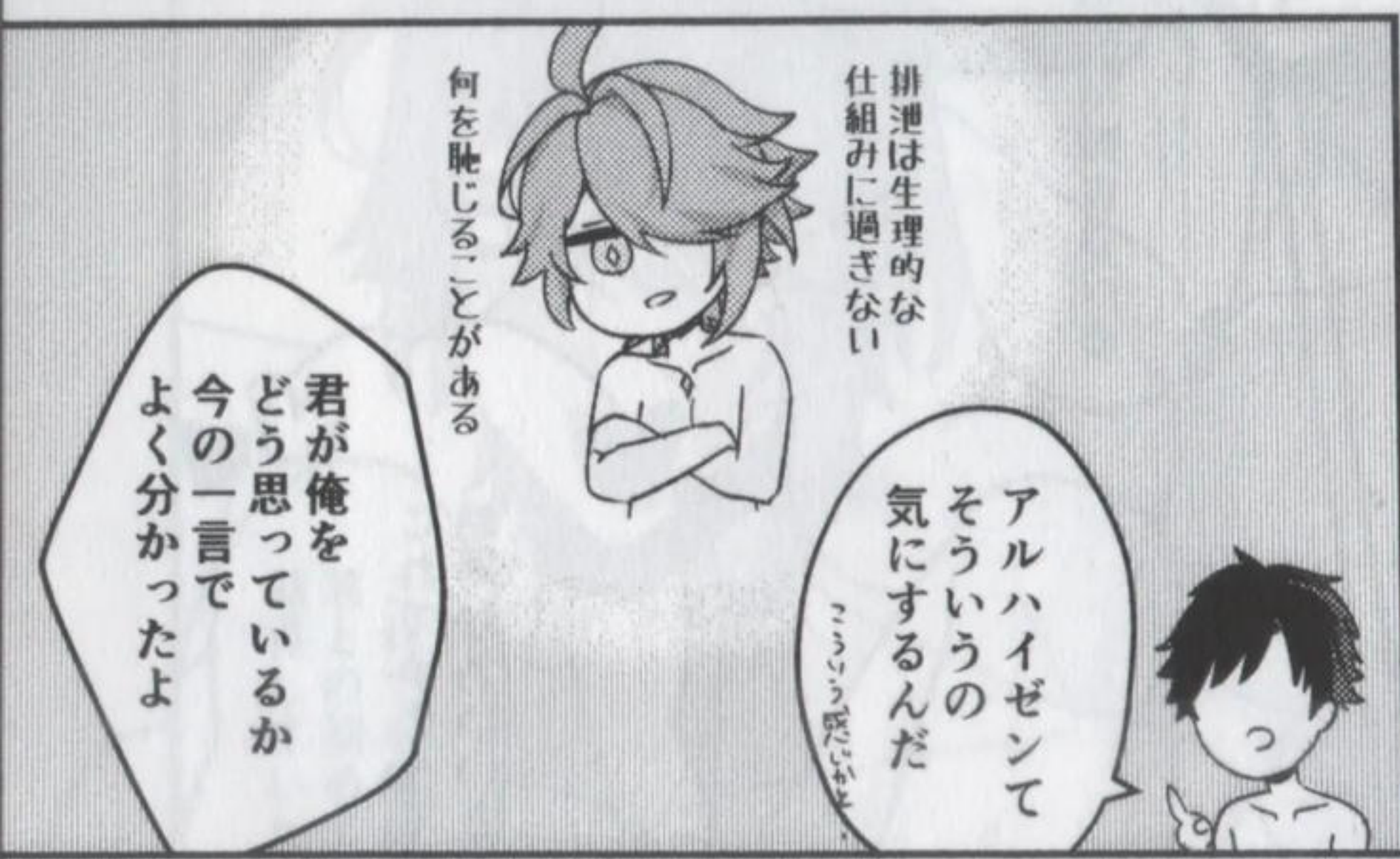
あー

そもそも恋人に排泄口を
曝け出している時点で
俺はかなりの羞恥を
耐えていると
分かっているか？
普段汚物を
出している場所だ



てかそんなに嫌...？

気持ちいいらしいけど



何を恥じる...ことがある

排泄は生理的な
仕組みに過ぎない

君が俺を
どう思っているか
今の一言で
よく分かったよ

アルハイゼンて
そういうの
気にするんだ
コンニチワだわい



ムス

ごめんって！
...あ、じゃあ
これ使おう



何故そんなものを
持っている？

わあ
軽蔑の眼差し

はー



ドゥ

はいこれ！
「アハハ」



ド
ガッ



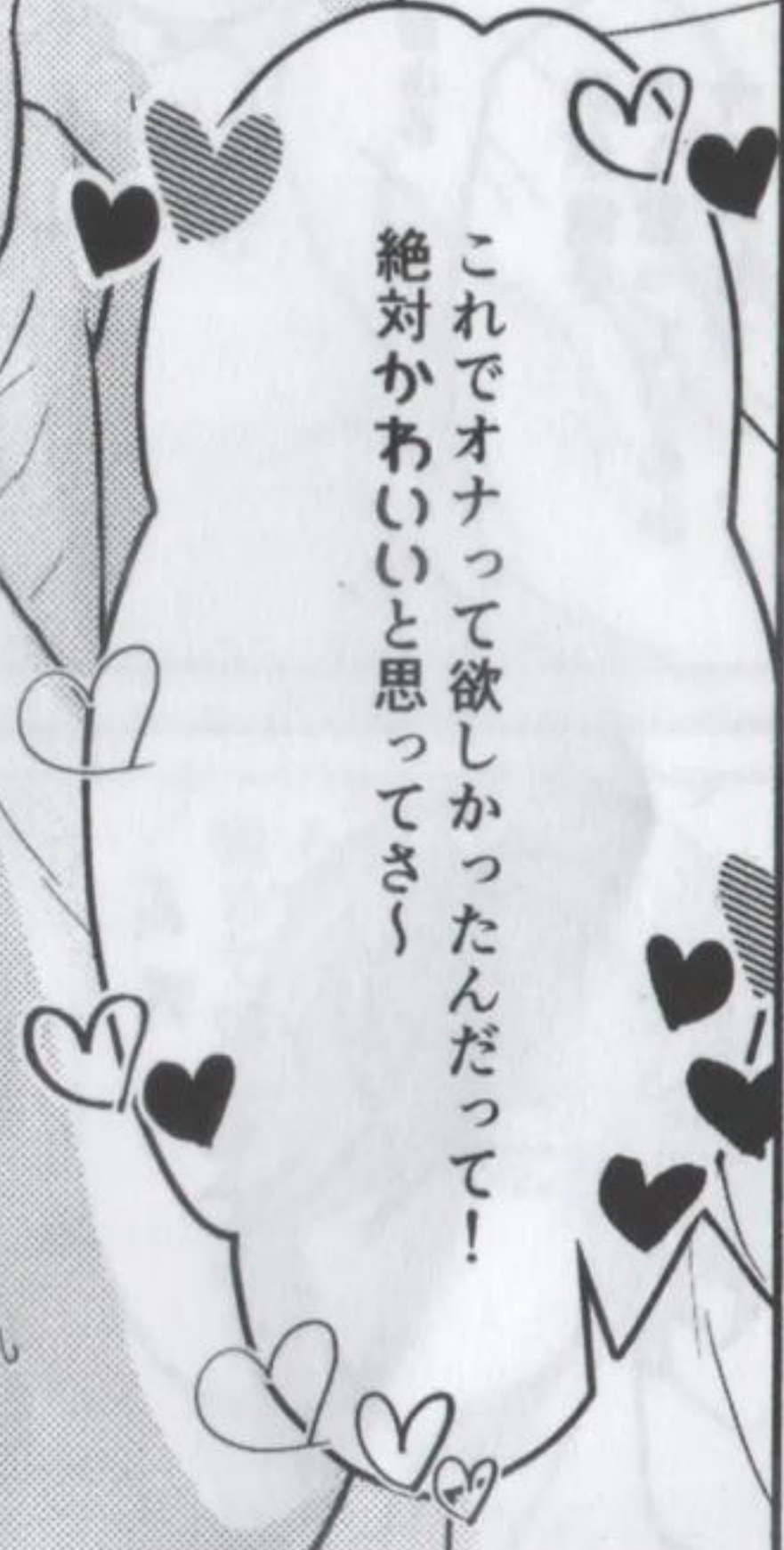
おい

まあまあ
そんな顔しないで



……

あはは



これでオナって欲しかったんだって！
絶対かわいいと思ってるさー



まあ俺のより細いし
ちようどいいな！
ってことで挿れるよー

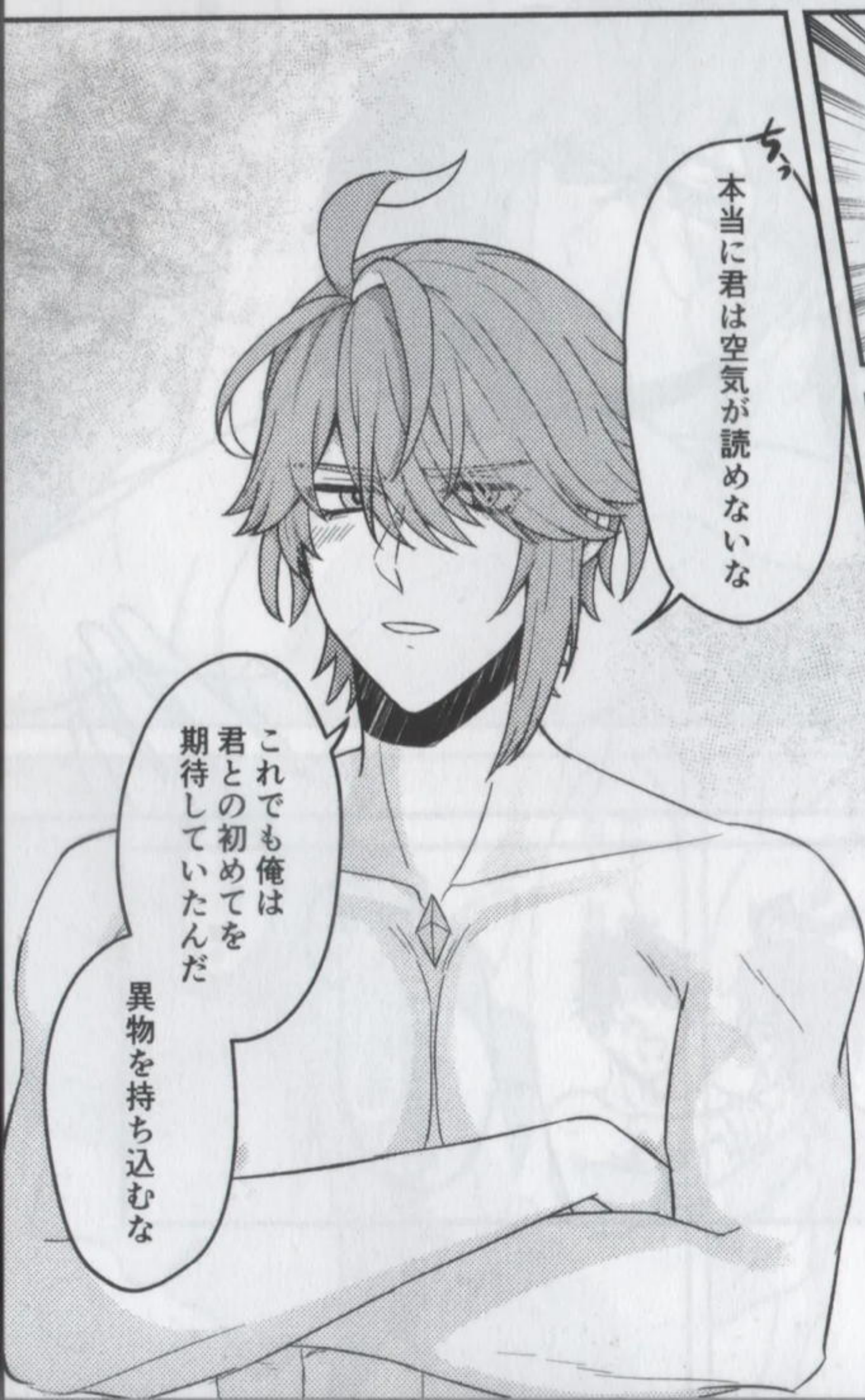
！
待っ…

このっ

ズ…



本当に君は空気が読めないな

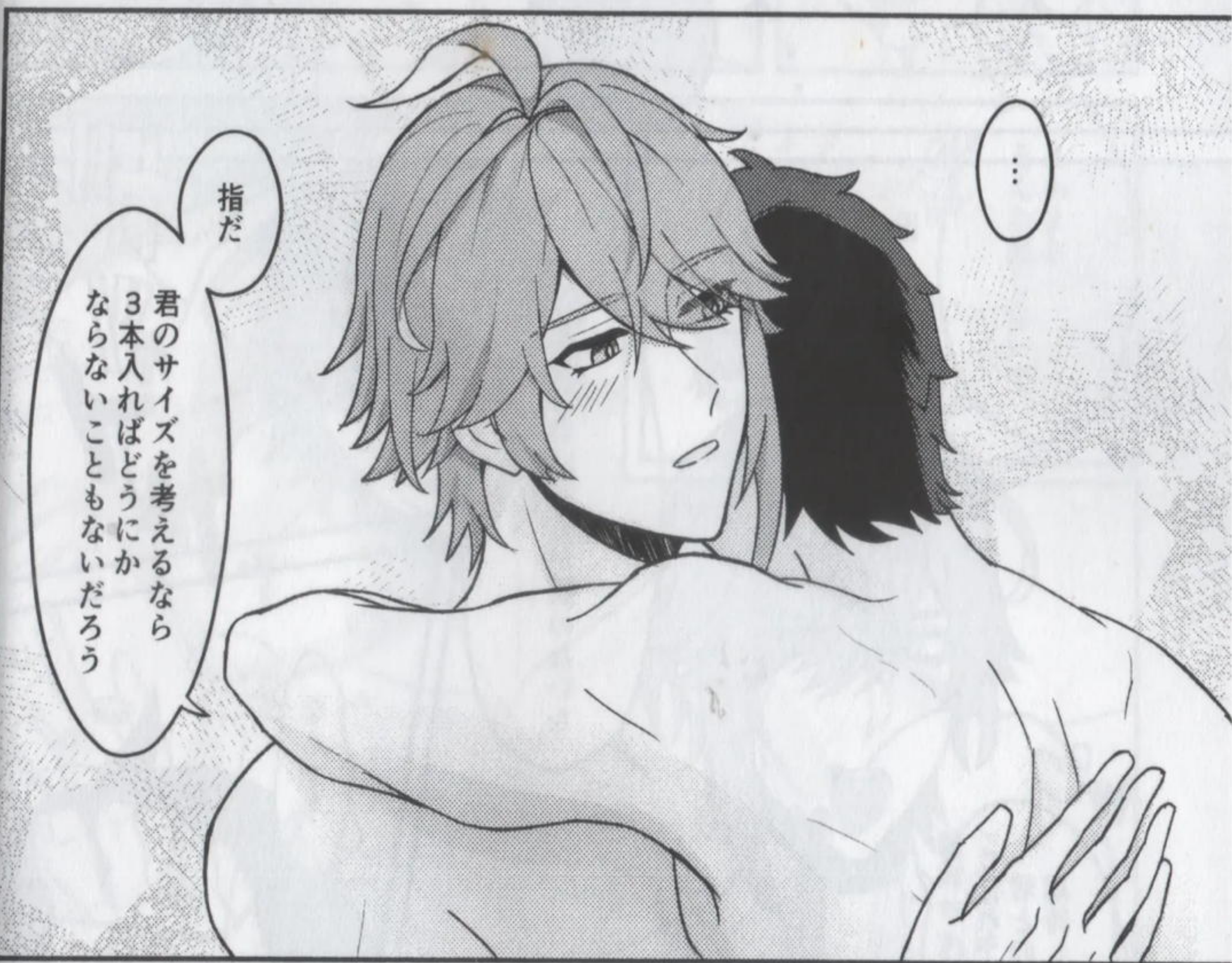


これでも俺は
君との初めてを
期待していたんだ

異物を持ち込むな



なんで…





…それで

何故こうなる

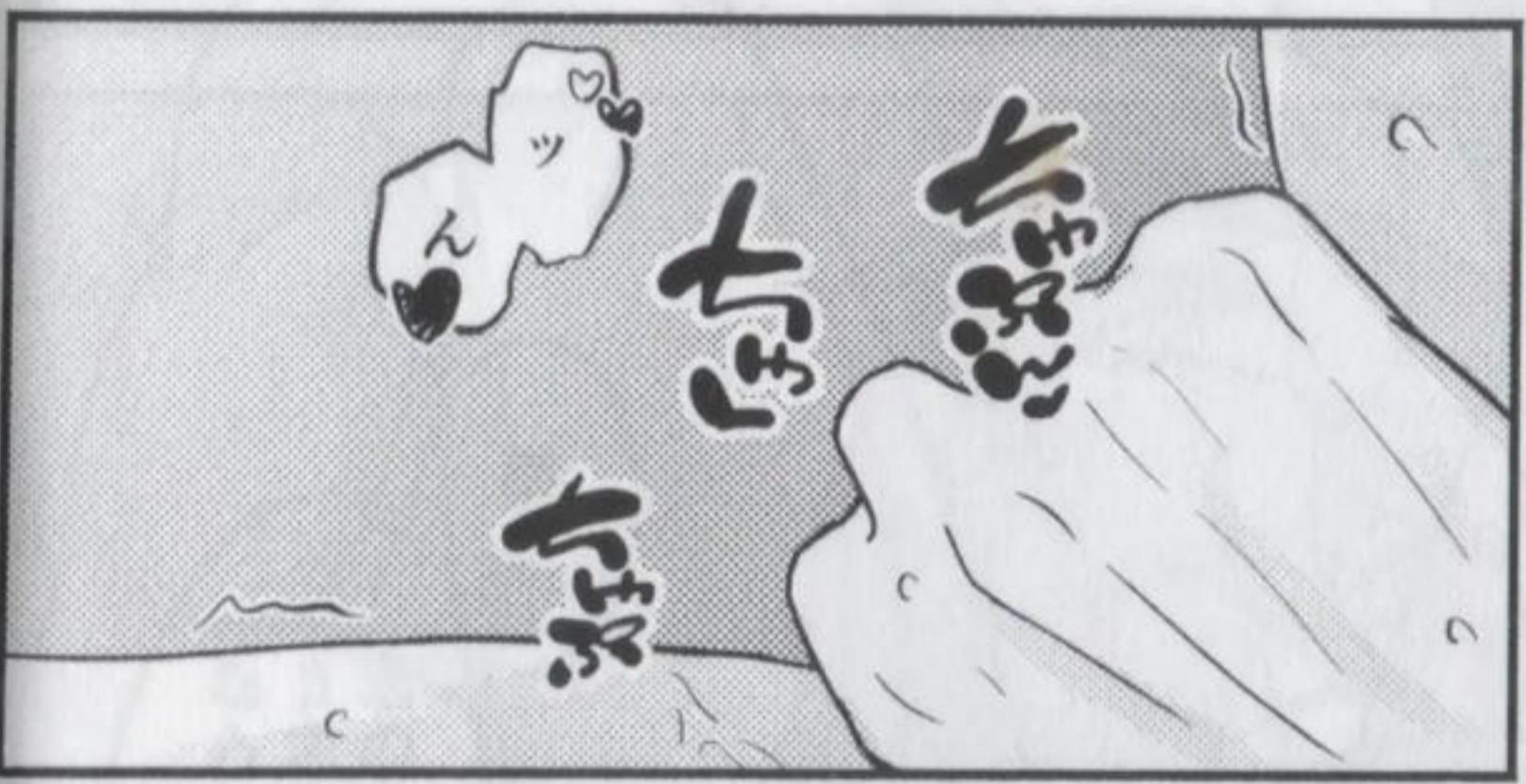
いや、
胸触ったりキスした方が
気が紛れるかなって

あと自分で弄ってる
アルハイゼンが見たい！



だって絶対かわいいしさ
なく、お願い

……
君は本当に一言多いな
少しは本音を隠せ







…熱い



は…

131



俺を見て
興奮しているのか

♡♡♡♡♡



アルハイゼン?



ん
ろろろ
ちちち
♡

はあ……♡

♡

アルハイゼン



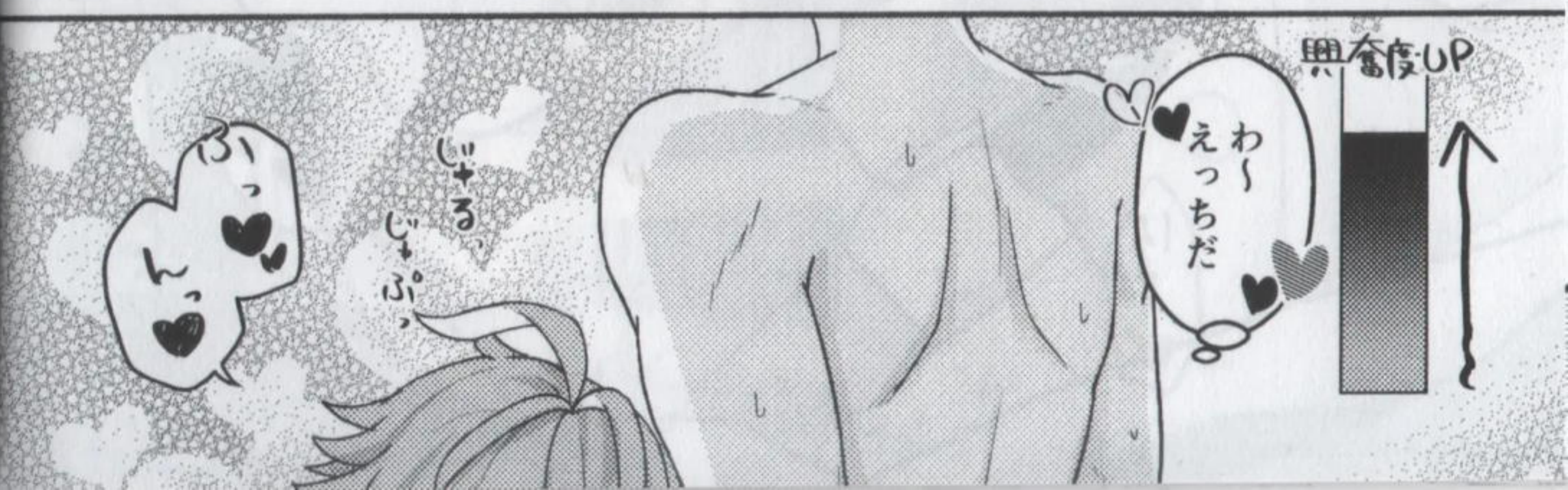
おわ
どうしたの急に



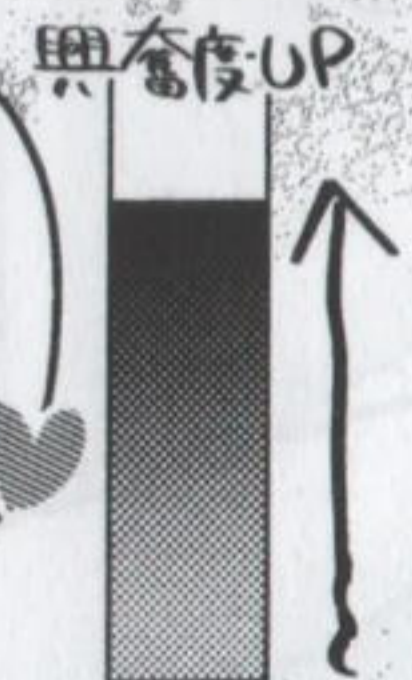
このままなのも
不憫だろう



随分苦しそうだからな



えっ♡
ちだ♡





…まだ大きくなるのか

君の陰茎は
必要以上に立派だな

ちんぽって言って!

びきびき

※

わー
うー
うー



調子に乗るな

すみません
でした



もぐ
もぐ

…



はあ
…分かったならいい



アルハイゼン

?



挿れたい

もう我慢出来ない



待て
入らな...

!?

ぬ
ぽ



大丈夫

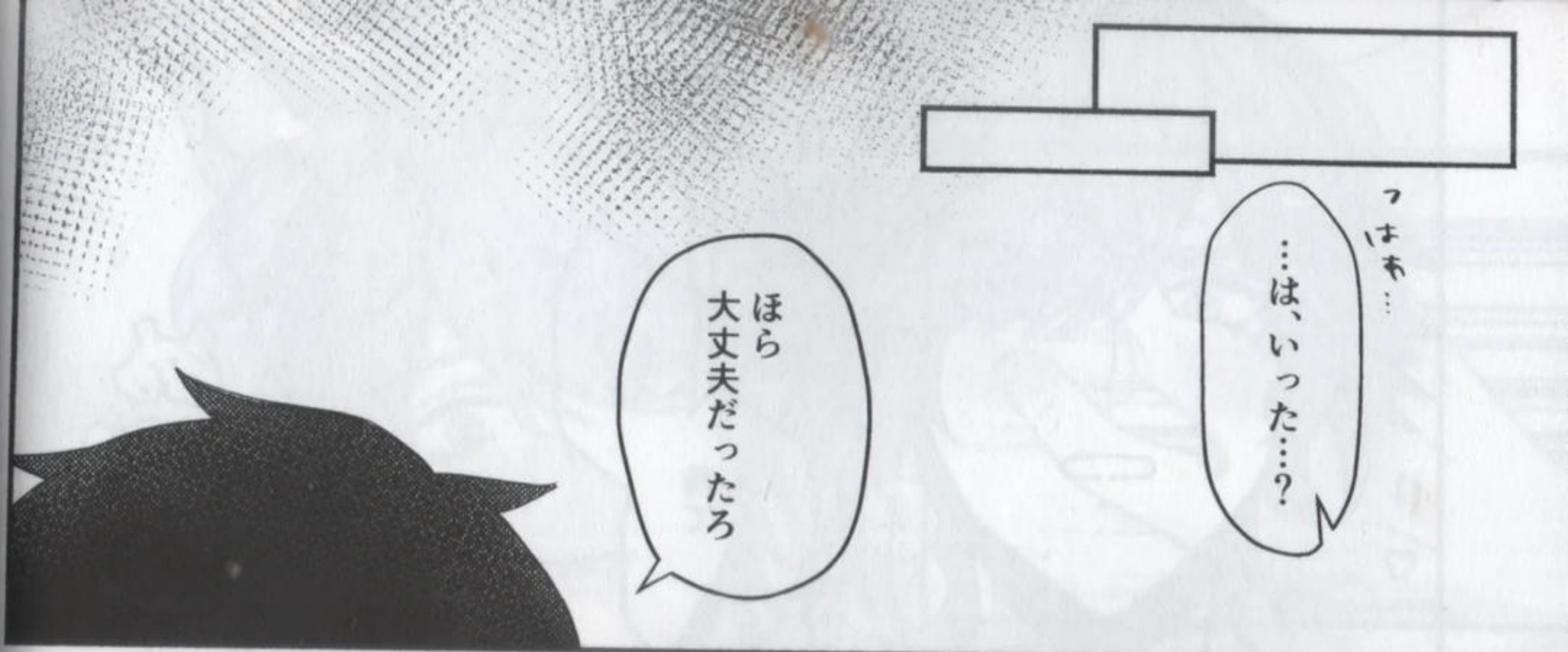
ず
ず
ず
...

ム
ム
ム



ん
ん
ん

ぽ
ぽ
ぽ



アハハ...

...は、いった...?

ほら
大丈夫だったろ



〇〇
...



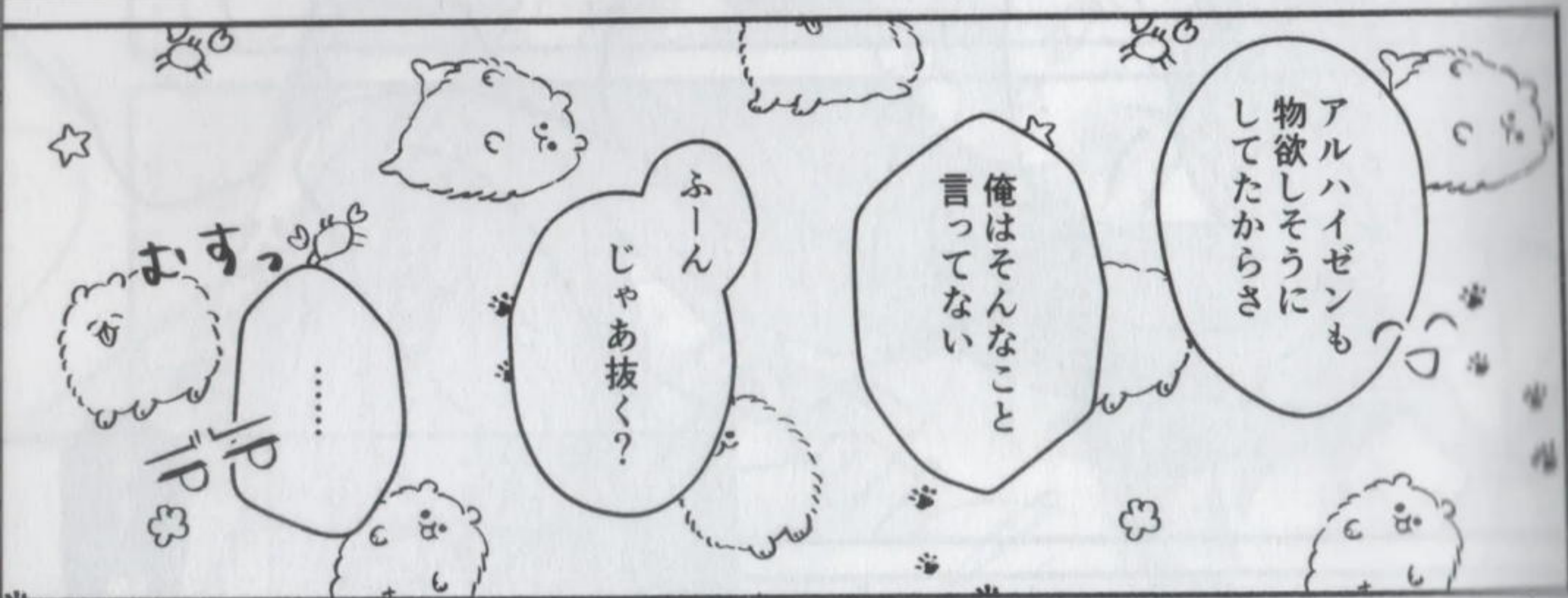
は...♡

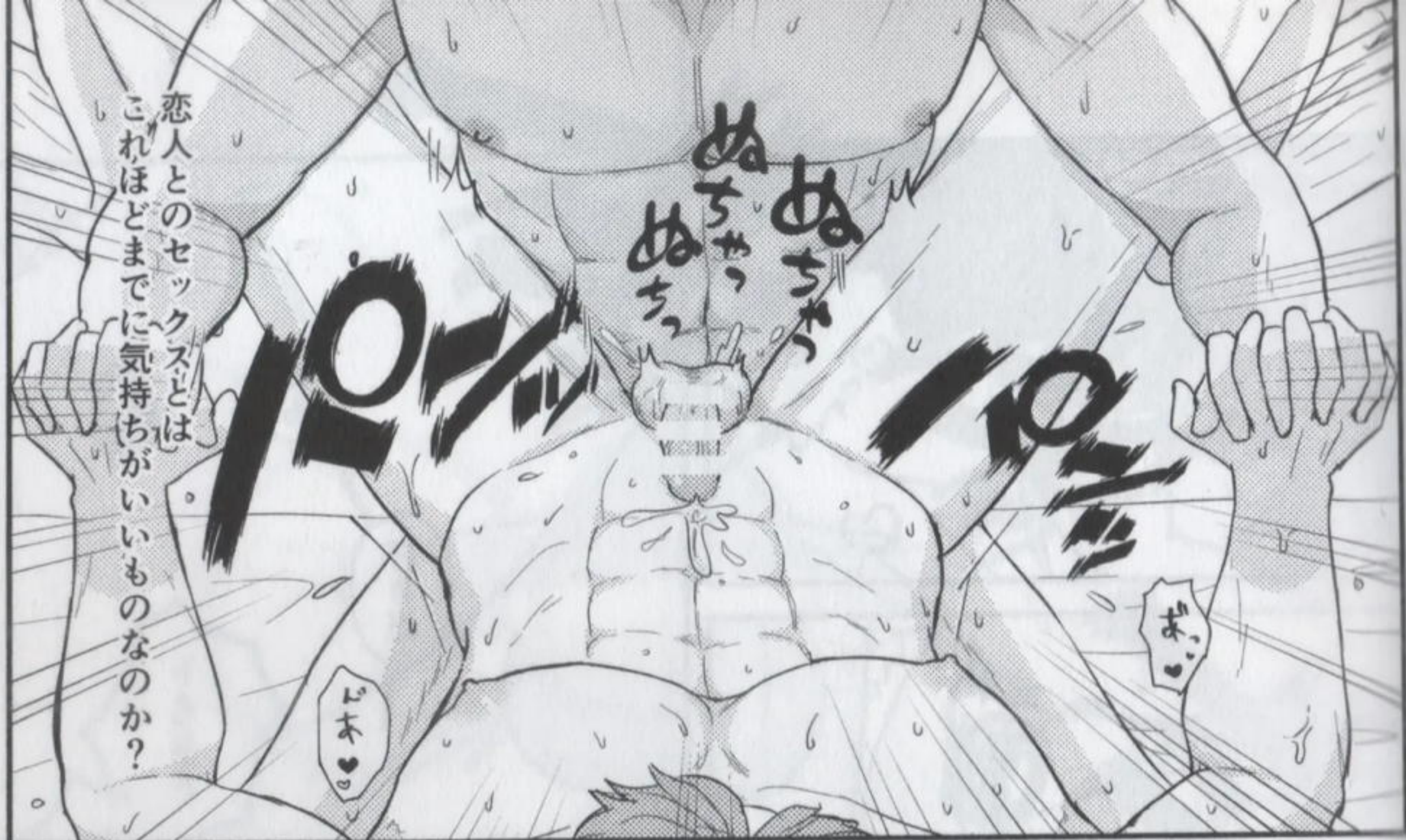
ふわふわする
それに



苦しい、が...

なんだ
この高揚感は





恋人とのセックスとは
これほどまでに気持ちがいいものなのか？



ただ陰茎を出し入れ
しているだけなのに

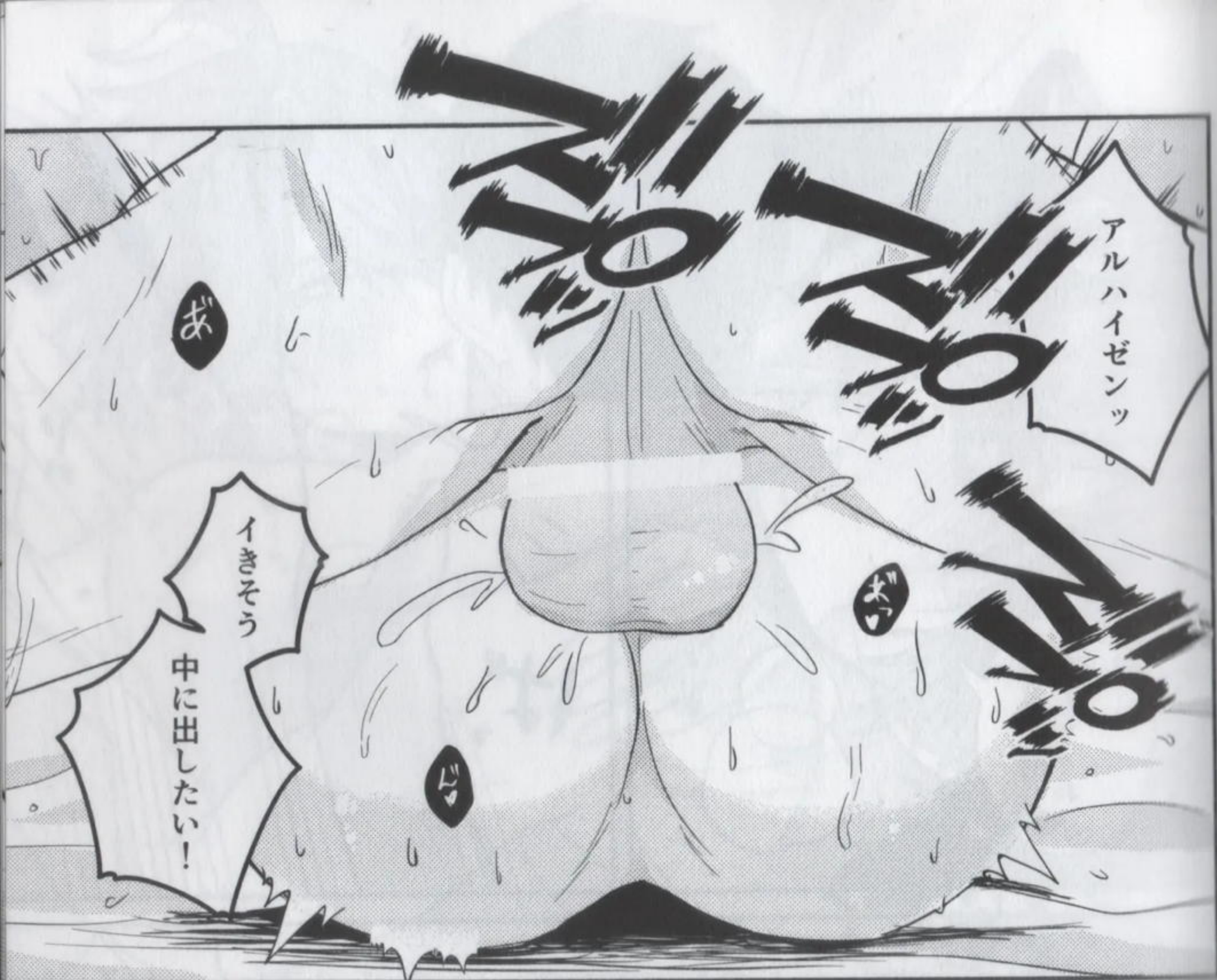
かわいい

好きだよ



おかしくなりそうだ

……っ





だいしゆきホールドで
メスイキしてたし!

俺のちんぽ気に入った?

...



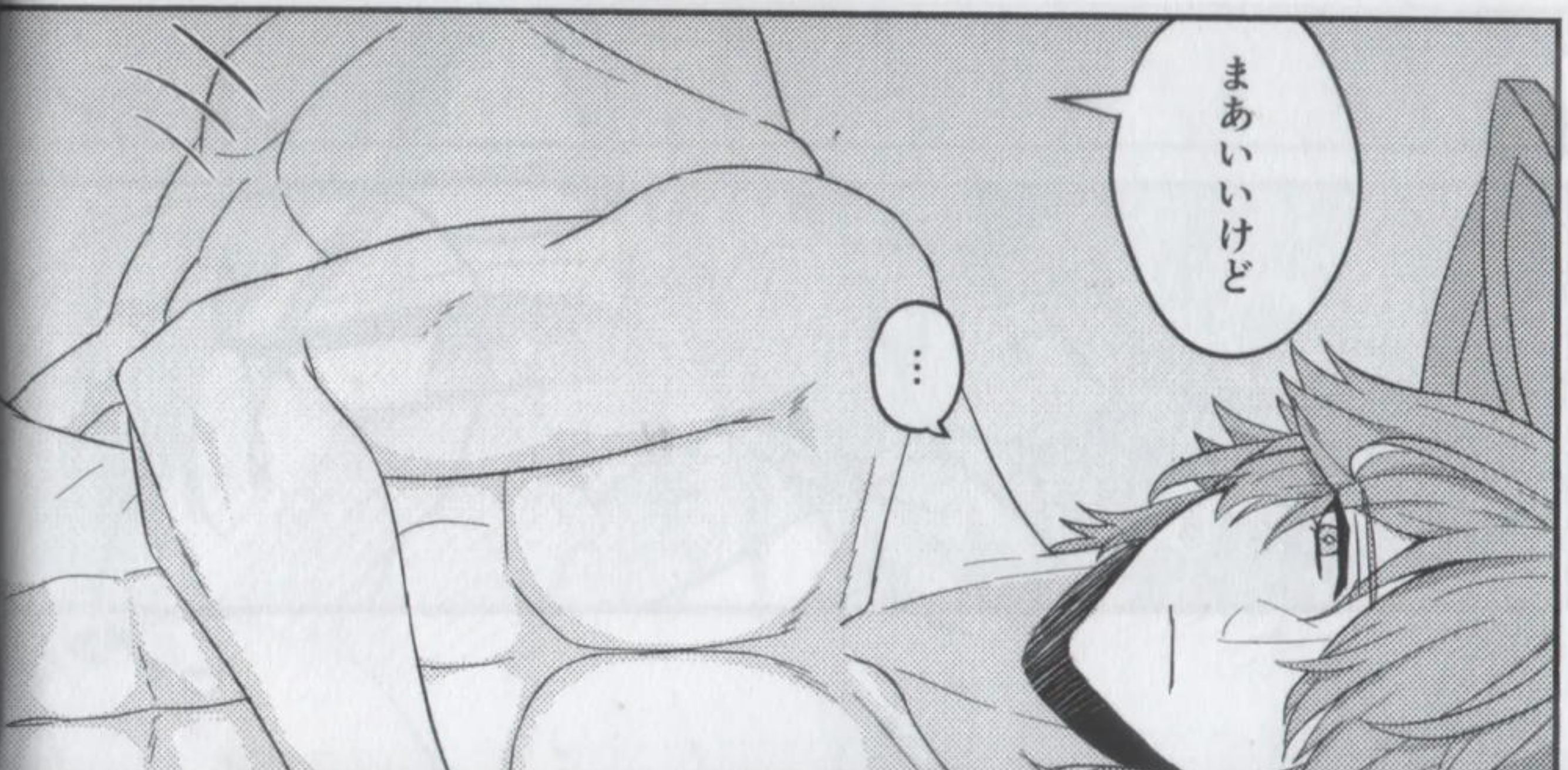
いやー
アルハイゼン
かわいかったな



さっきまであんなに
愛し合ってたのに
すげえ冷たい



すぐ調子に乗るところと
他人の忠告を活かせないところは
君の明確な欠点だな



まあいいけど

...



ん？

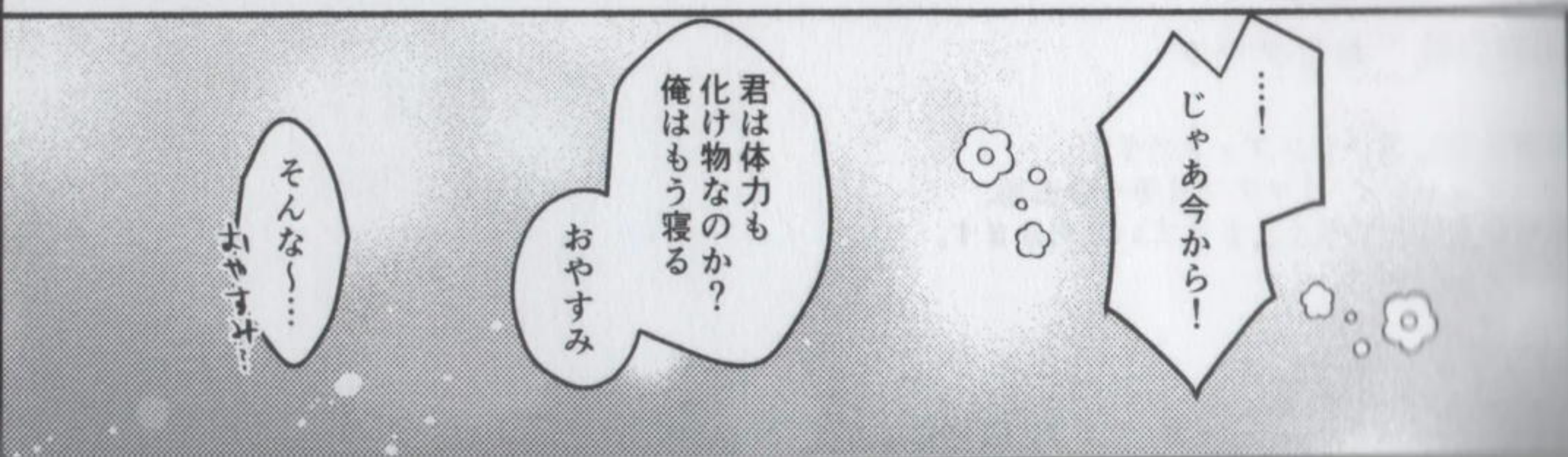
…悪くなかった

ふふふー



悪くなかった
と言ったんだ

…次も期待している



…！
じゃあ今から！

君は体力も
化け物なのか？
俺はもう寝る
おやすみ

そんな〜…
おやすみ！

君のソレは大きすぎて入らない！



感想などいただくと
嬉しいです！(マシュマロ)

第1版：2025年 5月 4日

第2版：2025年 6月 8日

サークル：いつもひだり

発行者：しゃち

連絡先：shachi.kaichuyuei@gmail.com

Twitter：@shachi_orcinus

Pixiv：74877152

印刷会社：おたクラブ

本書は非公式ファンブックです。

オークション・フリマアプリ等への出品、

無断転載は一切禁止とさせていただきます。

Genshin Impact Unofficial Fanbook
Mob × Alhatham

